



平成27年10月27日
和歌山大学教育学部附属特別支援学校
養護教諭 鶴岡 尚子

朝晩は冷え込み、昼間は汗ばむほど暑く、一日の気温差が大きいこの頃。体調を崩しやすいので注意が必要な時期ですね。また、今は体を動かすのに気持ちのいい季節。みんなの体力を伸ばしやすい時期でもあります。楽しい経験を通して、健康な体をつくっていきましょう。

報告します!親子研修会

9月28日授業参観後、「歯から始めるHAPPY LIFE—お子様の口腔内チェックと染め出しを通して—」というテーマで親子研修会を実施しました。本校歯科校医の和申先生と2人の歯科衛生士さんに来ていただきました。

写真でむし歯やプラークを確認しました。話を聞くのも親子で真剣! 次に、保護者の方に口の中をチェックしてもらいました。あれ?昼休みにみがいたはずなのに、ほとんどの人にプラークが残っていましたね。舌が白い(舌苔)人もたくさんいました。



保護者の方に、プラークを赤く染めてもらいました。みなさんはブラッシング指導などで染めたことがありますが、保護者の方に見てもらうのは初めてでしたね。赤いところが多すぎて、驚いた保護者の方からは悲鳴にも似た声が…。それから丁寧にみがいて、赤い色をきれいに落としました。

「親子で参加できたことがよかった。」「歯科医さん・歯科衛生士さんに一人一人に合ったみがき方を教えてもらえてよかった。」「個別に相談できてよかった。」などの感想が保護者の方から寄せられました。

ご参加下さった保護者の方々、ありがとうございました。

注意! 「感染性胃腸炎」広がる

「新型ノロウイルス」も!

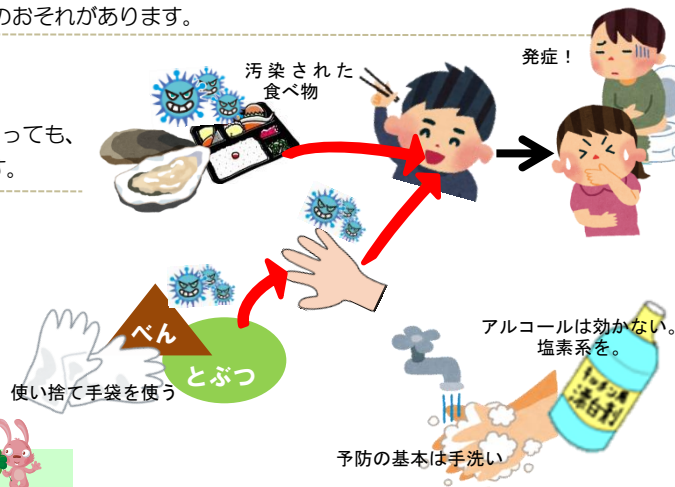
激しい嘔吐や下痢などの症状が出る「感染性胃腸炎」が広がっています。人が免疫を持っていない新型ノロウイルスへの感染も国内で広がっていて、例年ノロウイルスが増える秋から冬にかけて大流行のおそれがあります。

どうやって感染するの?

- ・ノロウイルスに汚染された食品を食べて感染します。
- ・感染した人の便や、おう吐物に触れて、感染します。症状がおさまっても、1週間から1か月ほど大量のウイルスが便の中に排出され続けます。

どうやって予防するの?

- ・石けんをつけ、ていねいに手洗いをする。
- ・感染者がいる時は家族でもタオルの共有をしない。
- ・おう吐物の処理には使い捨て手袋を使う。絶対に素手で触れない。
- ・消毒はハイターなど塩素系消毒剤が有効。



保護者の方に
に向けた

ちょっとひと息...こころのおはなし

現在2歳の娘はトイレトレーニング中(と言っても保育園に丸投げしていますが...). おまるに座らせるようになってから、突然おまた(授業の中でも、私は女の子の性器のことをこう呼んでいます。)を触るようになりました。おむつかえのあと、おしっこしたあとなどズボンや下着を脱いで開放的になった時に触ることが多く、お風呂のあとなんかはソファの上で足を広げて堂々とおまたを触っていることも。「幼児自慰」と呼ばれる行動で、青年期の性的な自慰行為とは異なるようです。ただ、性を知っている大人にとっては「イヤらしい」と見えるのが普通。「触ったらダメ!」と主人の焦った声がよく聞こえてきます。娘はおまたを広げながら、「これは~?(何?の意味)」と聞くので私は「おまただよ~。だいじ、だいじ。きれいにしようね。」と答え、指とおまたをタオルで拭いています。自分の体を触って気持ちがいい所を知るのも必要なこと。見守りつつ、清潔な手で触るとか、おしっこのあとはペーパーでキレイに拭くとか、自分の体を大切にする方法も教えていきたいです。